

<国税庁長官賞>

税の軌跡

須賀川市立西袋中学校 二年 大石 悠叶

「税金は全ての人の人生を支えている」と切に感じて生活をしている人はどの位いるだろうか？今までの僕は、税金と聞くと消費税や所得税など納税する方のイメージが強かったが、弟が生まれてからは、税金がどの様に人々の暮らしを支えているのかを意識して生活するようになった。

僕の弟は数万人に一人の珍しい染色体異常を持って生まれた。その為、言葉や身体の成長がゆっくりで、毎週病院のリハビリで歩行練習や日常動作の訓練をしたり、幼稚園に行きながら児童発達支援を利用して自立生活に繋がる訓練をしたりしている。弟に障害があると分かった時、両親は子育てに対する不安や就労の継続、仕事を制限することによる経済的負担から僕の将来必要な学費の確保などが頭をよぎり、数々の心配事で心が押しつぶされそうになったそうだ。しかし、相談支援員の存在や医療関係者などの協力や助言のお陰で、弟の成長に合わせて必要な支援やサポートが受けられることを知った。例えば、毎週の通院代や、リハビリで正しい姿勢で歩く為の補助装具代、保育園や児童発達支援の利用料の一部免除、児童発達支援まで送迎する為の移動支援などがあり、実際にそれらのサービスや控除を受けながら生活をしている。これらは、障害者の様々な事情を考慮し、負担額を軽減する障害者控除という制度であり、税金の一部で成り立っていることを知った。

僕は弟一人の生活にこれほど様々な税の関わりがあることに驚いた。何不自由のない日常生活を送れている僕らの背景には、税金が緻密に寄り添い国民の生活をあらゆる角度から支えているという現状があるのだ。両親の不安は税金という支援・協力によって将来を前向きにイメージ出来る希望へと変わっていった。そして、弟だけでなく僕達家族が毎日を楽しく暮らしていけるのは、税金が人それぞれのニーズに合うよう形を変え、その人の生活を支えているのだと実感出来たからだと思っている。それ

はまるで人間の身体に張り巡らされた血液の様だ。血液は心臓という貯蔵庫から無数の血管を通じて、身体の隅々まで流れている。複雑な血管のネットワークを通じて、必要な酸素や栄養分を送っているのだ。税金も血液の様に、国民からの納税により無数の支援やサービス・事業に分けられ、今日の全ての生活に寄り添い、支えている。税がたどる軌跡は、僕達が過ごす人生の軌跡でもあるのだと改めて感謝しなければならない。

税金がどのような形で社会貢献しているかが見えてくると、未来を支える僕達の納税への意識がより良い方向に変わるだろう。それらの思考の先にあるものが、いつも誰かを支え助け合い、明るい未来への軌跡を作るのだ。そして、この素晴らしい制度を繋いで、これから先も一人一人が生きやすい社会であり続けることを願っている。